



簡易算定ツールご利用マニュアル

NTT株式会社 KDDI株式会社 ソフトバンク株式会社

2025年 10月 31日

1-1.Scope1の投入シートについて

2

- Scope 1 の排出量は「自社や工場で使用した燃料量× 排出原単位」で算定します。
- 算定には環境省DBの排出原単位を用います。

算定ロジック

$$\text{Scope1排出量} = \text{自社や工場で使用した燃料量} \times \text{排出原単位}$$

■拠点別排出量（Scope1）

拠点名	エネルギー分類名	単位	供給会社	排出係数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	CO2排出量
例：大阪ビル	都市ガス	千㎡	東京電力エナジーパートナー株式会社	2.05	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	120	246
東京第一	都市ガス	千㎡	都市ガス（全国平均値）	2.05		10											10.00	20.50
東京第二	都市ガス	千㎡	都市ガス（全国平均値）	2.05						10							10.00	20.50
新潟支店	都市ガス	千㎡	越後天然ガス株式会社	2.01					100								100.00	201.00
福岡	ガソリン	Kl	ガソリン（全国平均値）	2.29													0.00	0.00
四国	灯油	Kl	灯油（全国平均値）	2.50							100						100.00	250.27
九州	軽油	Kl	軽油（全国平均値）	2.62								100					100.00	261.95
北海道	A重油	Kl	A重油（全国平均値）	2.75									100				100.00	275.28
																	0.00	#VALUE!
																	0.00	#VALUE!
																	0.00	#VALUE!

ガスは全国平均もしくは事業者毎の数値、それ以外の燃料（ガソリン、灯油、軽油、重油）は全国平均を用います

排出原単位の単位と整合するように値を入力ください。

月別で投入いただくと合計欄に自動反映されます。
※合計のみ投入したい場合は月別は空白とし、合計欄に手動で投入ください

1-2.Scope2の投入シートについて

3

- Scope 2 の排出量は「自社で購入した電気・熱等のエネルギー量× 排出原単位」で算定します。
- 算定には環境省DBの排出原単位を用います。

算定ロジック

Scope2排出量

=

購入したエネルギー量
(電力・熱(冷水・温水・蒸気))

×

排出原単位

■拠点別排出量 (Scope 2)

拠点名	エネルギー分類名	単位	供給会社	排出係数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	CO2排出量
例：大阪ビル	冷水	GJ	山王熱供給株式会社	0.0432	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	1200	51.84
東京第一	電気	kWh	電気(全国平均値)	0.000438		100											100	0.04
東京第二	電気	kWh	電気(全国平均値)	0.000438							100						100	0.04
九州	電気	kWh	九州電力	0.000475				100									100	0.05
四国	電気	kWh	四国電力	0.000454									100				100	0.05
			/														0	#VALUE!
			全国平均もしくは事業者毎の数値を用います。														0	#VALUE!
			電力事業者が不明の場合は、全国平均を使用ください														0	#VALUE!
																	0	#VALUE!
																	0	#VALUE!
																	0	#VALUE!

排出原単位の単位と整合するように値を入力ください。

月別で投入いただくと合計欄に自動反映されます。
※合計のみ投入したい場合は月別は空白とし、合計欄に手動で投入ください

2.Scope3簡易算定ツールについて

- カテゴリ1～15の対象シートに投入を実施します。（自社排出量可視化 簡易ツール（Scope3）.xlsx参照）
- 自動で総排出量が「算定結果」シート上に表示されます。（本ツールでは温室効果ガスの中で最も大きい割合を占めるCO2で算定しています）
- 計算結果をもとに、各社のHPや統合レポートでの開示、CDP等への回答用基礎データとして活用ください。

カテゴリ4. 輸送、配送（上流）

概要：仕入れ先から自社までの物流および横持・出荷において自社が購入した物流による排出量を計上するカテゴリ
例：調達輸送や自社荷主の横持・出荷輸送、倉庫の利用などが対象
基本の計算式：輸送手段別の輸送費・倉庫利用料×排出係数

排出量[tCO2eq]
0

輸送、配送（上流）の活動名	算定方式	物流費		係数名
		数値	単位	
例・A社までの出荷輸送	環境省 物流費	1000	百万円	トラック

黄色のセル範囲に入力ください
（投入内容によって追加で黄色セル箇所が増えた場合は追加投入願います。）
※各シート毎の投入概要は次頁以降を参照ください

自動反映

（会社名、グループ名） ○○年度 温室効果ガス排出量算定結果

カテゴリ	カテゴリ名	排出量 [t-CO2]	割合 [%]
カテゴリ1	購入した製品・サービス	0	0
カテゴリ2	資本財	0	0
カテゴリ3	Scope1,2に含まれない燃料及びエネルギー関連活動	0	0
カテゴリ4	輸送、配送（上流）	0	0
カテゴリ5	事業から出る廃棄物	0	0
カテゴリ6	出張	0	0
カテゴリ7	雇用者の通勤	0	0
カテゴリ8	リース資産（上流）	0	0
カテゴリ9	輸送、配送（下流）	0	0
カテゴリ10	販売した製品の加工	0	0
カテゴリ11	販売した製品の使用	0	0
カテゴリ12	販売した製品の廃棄	0	0
カテゴリ13	リース資産（下流）	0	0
カテゴリ14	フランチャイズ	0	0
カテゴリ15	投資_GHGp	0	0
合計		0	0

※カテゴリ15はPCAF方式かGHGプロトコル方式のどちらか1つで算定してください

※環境省HPに掲載の排出原単位一覧(<https://eegs.env.go.jp/ghg-santeikohyo-result/>)を参照しています。
※本ツールは、排出量が多いCO2を前提としたツールとなっております。他の温室効果ガス（メタン等）を測定される場合は、算定した排出量に環境省公開の「排出原単位データベース」(https://www.env.go.jp/earth/ondanka/supply_chain/gvc/estimate_05.html)を乗算しCO2排出量に変換し算出を実施ください。

- ## 算定ロジック

$$\text{カテゴリ1の排出量} = \text{購入した物品・サービスの金額} \times \text{排出原単位}$$

メーカーからの購入の場合は「メーカー（生産者価格）」を選択し、
 商社や小売りからの購入の場合は「商社・小売り（購入者価格）」を選択する。

2-2.カテゴリ2(資本財)

- カテゴリ2の排出量は「設備投資金額 × 排出原単位」で算定します。
- 算定には環境省DB [6資本財] などの排出原単位を用います。
- 収集データは企業・事業別の設備投資額を入力します。

算定ロジック

カテゴリ2の排出量

=

設備投資金額

×

排出原単位

事業内容/資本財名	算定方式	資本財購入量・金額		排出原単位（環境省DB【6資本財】）			排出原単位（その他）				排出量	
		数値	単位	係数名	数値	単位	出典	係数名	数値	単位	出典	[t-CO2eq]
例：A社（自動車）	環境省_設備投資額	1000	百万円	乗用車	3.278667189	tCO2eq/百万円	環境省DB「6資本財」_乗用車					3278.667189
					#N/A	#N/A	#N/A					#N/A
					#N/A	#N/A	#N/A					#N/A
					#N/A	#N/A	#N/A					#N/A
					#N/A	#N/A	#N/A					#N/A
					#N/A	#N/A	#N/A					#N/A
					#N/A	#N/A	#N/A					#N/A
					#N/A	#N/A	#N/A					#N/A
					#N/A	#N/A	#N/A					#N/A
					#N/A	#N/A	#N/A					#N/A
					#N/A	#N/A	#N/A					#N/A
					#N/A	#N/A	#N/A					#N/A
					#N/A	#N/A	#N/A					#N/A

環境省_設備投資額：企業・事業別の設備投資額に基づき算定する場合に選択、環境省DB【6資本財】の原単位を使用します。

その他：資本財の種類や購入物量で算定する場合や、DEA等の他の排出原単位データベースを使用する場合に選択します。

排出原単位の単位と整合するように値を入力ください。

取得した資本財の内容ではなく、自社の事業内容（提供する製品・サービス）に整合・包含する原単位を選択します。

2-3. カテゴリ3（Scope1,2以外のエネルギー関連活動）

- カテゴリ3の排出量は「使用したエネルギー量 × 排出原単位」で算定します。
- 排出原単位は環境省DB [5産連表・9電気・熱] やIDEA等を用います。
- 燃料・エネルギーの種類に応じて適切な原単位を選択します。

算定ロジック

カテゴリ3の排出量

=

使用したエネルギー量

×

排出原単位

エネルギー名	算定方式	エネルギー量		排出原単位（環境省DB【5産連表DB】または【9電気・熱】）				排出原単位（その他）				排出量 [t-CO2eq]
		数値	単位	係数名	数値	単位	出典	係数名	数値	単位	出典	
例：ガソリン	環境省 エネルギー	100	kl	石油製品	0.57273547	tCO2eq/kl	環境省DB「5産連表DB」	石油製品_物量				57.27354696
					0	0	0					0
					0	0	0					0
					0	0	0					0
					0	0	0					0
					0	0	0					0
					0	0	0					0
					0	0	0					0
					0	0	0					0
					0	0	0					0
					0	0	0					0
					0	0	0					0

環境省_エネルギー使用量：
環境省DBを使用して算定する
場合に選択

その他：IDEA等の他の排出
原単位データベースを使用する
場合に選択します。

排出原単位の単位
と整合するように値
を入力ください。

燃料・エネルギーの種類に基づき選択します。それぞれ以下を含みます。

電気：購入した電気
蒸気：購入した蒸気・熱
石炭・原油・天然ガス：原料炭・一般炭・原油・天然ガス・LNGなど
石油製品：ガソリン：灯油・軽油・LPGなどの石油精製燃料
石炭製品：コークス・練炭・コールタールなどの石炭加工燃料
都市ガス：都市ガス

2-4. カテゴリ4（輸送・配送(上流)）

- カテゴリ4の排出量は「輸送費用またはトンキロ × 排出原単位」で算定します。
- 輸送手段と倉庫利用料に基づき、環境省DB〔5産連表DB〕の原単位を使用します。
- 輸送区分は国内・海外、輸送手段ごとに設定されています。

算定ロジック

カテゴリ4の排出量

=

輸送費用or
倉庫利用料

×

排出原単位

輸送、配送（上流）の活動	算定方式	物流費		排出原単位（環境省DB【5産連表DB】）			排出原単位（その他）				排出量	
		数値	単位	係数名	数値	単位	出典	係数名	数値	単位	出典	[t-CO2eq]
例：A社までの出荷輸送	環境省 物流費	1000	百万円	トラック	3.931142134	tCO2e/百万円	環境省DB【5産連表DB】	道路貨物輸送（除自家輸送）				3931.142134
					0	0	0					0
					0	0	0					0
					0	0	0					0
					0	0	0					0
					0	0	0					0
					0	0	0					0
					0	0	0					0
					0	0	0					0
					0	0	0					0
					0	0	0					0
					0	0	0					0

環境省_物流費：輸送費や倉庫利用料に基づき算定する場合に選択、環境省DB〔5産連表DB〕の原単位を使用します。

その他：トンキロや倉庫利用面積で算定する場合や、IDEA等の他の排出原単位データベースを使用する場合に選択します。

排出原単位の単位と整合するように値を入力ください。

輸送手段および倉庫に対して原単位が設定されています。船舶は海外（外洋輸送）、国内（沿海輸送）に分かれています。

2-5. カテゴリ9（輸送・配送(下流)）

- カテゴリ9の排出量は「輸送トンキロまたは倉庫利用面積 × 排出原単位」で算定します。
- 下流輸送については環境省DB〔20輸送（トンキロ法）〕の原単位を用います。
- 倉庫保管については環境省DB〔16建物（面積）〕の原単位を用います。

算定ロジック

カテゴリ9の排出量

=

輸送トンキロ

×

排出原単位

輸送、配送（下流）の活動	算定方式	トンキロ/倉庫利用面積		排出原単位（環境省DB【2輸送【トンキロ法】（新）】または【16建物【面積】】）							排出原単位（その他）			排出量 [t-CO2eq]	
		数値	単位	係数名	燃費基準	最大積載量[kg]	積載率[%]	数値	単位	出典	係数名	数値	単位		出典
例1：A社までの出荷輸送	環境省 トンキロ	100000	トンキロ	トラック デフォルト		11000	51	0.000154414	tCO2e/tkm	環境省DB「2輸送【トンキロ法】（新）」ディーゼル車（その他）					15.44138802
例2：倉庫A	環境省 倉庫面積	100	m2・年	倉庫				0.084243403	tCO2/m2・年	環境省DB「16建物【面積】」その他サービス業 合計（代表値）					8.424340259
								0	0	0					0
								0	0	0					0
								0	0	0					0
								0	0	0					0
								0	0	0					0
								0	0	0					0
								0	0	0					0
								0	0	0					0
								0	0	0					0
								0	0	0					0

環境省_輸送_トンキロ：下流の輸送についてトンキロ法に基づき算定する場合に選択、環境省DB〔20輸送【トンキロ法】（新）〕の原単位を使用します。

環境省_倉庫_面積：下流の倉庫利用について面積に基づき算定する場合に選択、環境省DB〔16建物【面積】〕の原単位を使用します。

その他：燃費法等他の活動量で算定する場合や、IDEA等の他の排出原単位データベースを使用する場合に選択します。

排出原単位の単位と整合するように値を入力ください。

環境省_輸送_トンキロの場合：輸送手段別に原単位が設定されています。輸送手段は船舶、航空、鉄道、トラック（ガソリン）、トラック（ディーゼル）です。

環境省_倉庫_面積の場合：原単位は1つのみです。

トラック・船舶輸送の場合は燃費基準を反映可能です。

トラックの場合：2025年基準達成車、2022年基準達成車、2015年基準達成車、デフォルト（その他）から選択可能です。指定が無ければデフォルトを選択ください。

船舶の場合：1990年から2010年の間に建造された船舶の船種毎の平均燃費と比較した燃費改善度（0%以上5%未満、5%以上10%未満、10%以上15%未満、15%以上20%未満、20%以上）から選択可能です。指定がなければデフォルトを選択ください。

トラック輸送の場合、当該トラックの最大積載量を記載します。

2-6. カテゴリ5（事業から出る廃棄物）

- カテゴリ5の排出量は「廃棄物処理費用または廃棄物処理量 × 排出原単位」で算定します。
- 算定には環境省DB〔5産連表DB・8廃棄物（種類別・処理方法別）〕を用います。
- リサイクルかその他処理かを区分して排出原単位を選択します。

算定ロジック

カテゴリ5の排出量

=

廃棄物種類別の処理重量or
廃棄・リサイクルの委託費用

×

排出原単位

廃棄物種類	算定方式	廃棄物量・処理費用		排出原単位（環境省DB【5産連表DB】または【8廃棄物【種類・処理方法別】または【9廃棄物【種類別】】）						排出原単位（その他）				排出量 [t-CO2eq]
		数値	単位	係数名	リサイクルかどうか 廃棄物輸送を含めるか	数値	単位	出典	係数名	数値	単位	出典		
例1：産業廃棄物	環境省_廃棄物処理費用	1	百万円	産業廃棄物		7.81	tCO2/百万円	環境省DB「5産連表DB」_廃棄物処理（産業）					7.81	
例2：廃プラスチック	環境省_廃棄物重量	10	t	廃プラスチック類	リサイクル以外・含まない	0.792748273	tCO2e/t	環境省DB「9廃棄物【種類別】」_廃プラスチック類（廃棄輸送段階を含まない）					7.927482727	
						#N/A	#N/A	#N/A					#N/A	
						#N/A	#N/A	#N/A					#N/A	
						#N/A	#N/A	#N/A					#N/A	
						#N/A	#N/A	#N/A					#N/A	
						#N/A	#N/A	#N/A					#N/A	
						#N/A	#N/A	#N/A					#N/A	
						#N/A	#N/A	#N/A					#N/A	
						#N/A	#N/A	#N/A					#N/A	
						#N/A	#N/A	#N/A					#N/A	

環境省_廃棄物処理費用：廃棄物処理費用に基づき算定する場合に選択、環境省DB【5産連表DB】の原単位を使用します。

環境省_廃棄物重量：廃棄物処理重量に基づき算定する場合に選択、環境省DB【8廃棄物【種類・処理方法別】】または【9廃棄物【種類別】】の原単位を使用します。

その他：IDEA等の他の排出原単位データベースを使用する場合に選択します。

排出原単位の単位と整合するように値を入力ください。

環境省_廃棄物処理費用：排出原単位は廃棄物が産業廃棄物か一般廃棄物かで区分されています。

環境省_廃棄物重量：産業廃棄物の廃棄物分類に基づき排出原単位が設定されています。詳しく区分はURL（https://www.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/resource/industrial_waste/about_industrial_about_02/）を参照ください。

環境省_廃棄物重量：当該廃棄物をリサイクルしている場合は「リサイクル」、リサイクル以外あるいは不明な場合は「リサイクル以外・その他」を選択ください。

2-7. カテゴリ12（販売した製品の廃棄）

- カテゴリ12の排出量は「販売した製品の物量 × 排出原単位」で算定します。
- 算定には環境省DB〔8廃棄物（種類・処理方法別）〕などの排出原単位を用います。
- 廃棄物の種類や処理方法（リサイクル・その他）に応じて原単位を選択します。

算定ロジック

$$\text{カテゴリ12の排出量} = \text{販売した製品の物量} \times \text{排出原単位}$$

活動内容	算定方式	販売数量		1製品当たり重量		排出原単位（環境省DB【5産連表DB】または【8廃棄物【種類・処理方法別】または【9廃棄物【種類別】】）							排出原単位（その他）			排出量
		数値	単位	数値	単位	係数名	リサイクルかどうか	廃棄物輸送を含める?	数値	単位	出典	係数名	数値	単位	出典	[t-CO2eq]
例：製品A	環境省_廃棄物重量	1000	台	0.5	t	金属くず	リサイクル以外・含まない		0.001526488	tCO2e/t	環境省DB「9廃棄物【種類別】」_金属くず（廃棄物輸送段階を含まない）					0.763243989
									#N/A	#N/A	#N/A					#N/A
									#N/A	#N/A	#N/A					#N/A
									#N/A	#N/A	#N/A					#N/A
									#N/A	#N/A	#N/A					#N/A
									#N/A	#N/A	#N/A					#N/A
									#N/A	#N/A	#N/A					#N/A
									#N/A	#N/A	#N/A					#N/A
									#N/A	#N/A	#N/A					#N/A
									#N/A	#N/A	#N/A					#N/A
									#N/A	#N/A	#N/A					#N/A
									#N/A	#N/A	#N/A					#N/A
									#N/A	#N/A	#N/A					#N/A
									#N/A	#N/A	#N/A					#N/A

環境省_廃棄物重量：廃棄物処理重量に基づき算定する場合に選択、環境省DB【8廃棄物【種類・処理方法別】】または【9廃棄物【種類別】】の原単位を使用します。

その他：IDEA等の他の排出原単位データベースを使用する場合に選択します。

環境省_廃棄物重量：産業廃棄物の廃棄物分類に基づき排出原単位が設定されています。詳しく区分はURL

(https://www.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/resource/industrial_waste/about_industrial/about_02/) を参照ください。

環境省_廃棄物重量：当該廃棄物をリサイクルしている場合は「リサイクル」、リサイクル以外あるいは不明な場合は「リサイクル以外・その他」を選択ください。

2-8. カテゴリ6（出張）

- ・ カテゴリ6の排出量は「交通費または従業員数 × 排出原単位」で算定します。
- ・ 算定には環境省DB「11交通費・13従業員」などの原単位を用います。
- ・ 交通手段ごとの費用や従業員数に応じて原単位を選択します。
- ・ 従業員自家用車利用の算定には燃料単価ベースの原単位を使用します。

算定ロジック

カテゴリ6の排出量

=

移動手段別の交通費or
従業員数

×

排出原単位

企業名/出張種別	算定方式	従業員数/交通費		排出原単位（環境省DB【13従業員】または【11交通費】）			排出原単位（その他）				排出量	
		数値	単位	係数名	数値	単位	出典	係数名	数値	単位	出典	[t-CO2eq]
例1：A社	環境省_従業員数	1000	人	出張	0.130373427	tCO2/人・年	環境省DB「13従業員」_出張					130.3734266
例2：国内出張	環境省_交通費	1000000	円	鉄道	1.85378E-06	tCO2/円	環境省DB「11交通費」_旅客鉄道					1.853777017
					#N/A	#N/A	#N/A					#N/A
					#N/A	#N/A	#N/A					#N/A
					#N/A	#N/A	#N/A					#N/A
					#N/A	#N/A	#N/A					#N/A
					#N/A	#N/A	#N/A					#N/A
					#N/A	#N/A	#N/A					#N/A
					#N/A	#N/A	#N/A					#N/A
					#N/A	#N/A	#N/A					#N/A
					#N/A	#N/A	#N/A					#N/A

環境省_従業員数：従業員数に基づき算定する場合に選択、環境省DB【13従業員】の原単位を使用します。

環境省_交通費：移動手段別の交通費に基づき算定する場合に選択、環境省DB【11交通費】の原単位を使用します。

その他：延べ出張日数で算定する場合や、IDEA等の他の排出原単位データベースを使用する場合に選択します。

排出原単位の単位と整合するように値を入力ください。

環境省_従業員数：原単位は1つです。

環境省_交通費：移動手段別に排出原単位が設定されています。ただし従業員の自家用車の場合は燃料単価から原単位を設定しています。

2-9. カテゴリ7（雇用者の通勤）

- カテゴリ7の排出量は「交通費または従業員数 × 排出原単位」で算定します。
- 算定には環境省DB【11交通費・14従業員（勤務日数）】の原単位を用います。
- 交通手段別の費用や従業員数・勤務日数に応じて原単位を選択します。
- 従業員自家用車の利用は燃料単価ベースの原単位を使用します。

算定ロジック

カテゴリ7の排出量

=

移動手段別の交通費or
従業員数

×

排出原単位

組織名（勤務形態）	算定方式	通勤活動量		排出原単位（環境省DB【14従業員【勤務日数】】または【11交通費】）				排出量 [t-CO2eq]
		従業員数（人） または交通費（円）	営業日数 ※従業員数算定時に利用	係数名	数値	単位	出典	
例1：拠点A	環境省_従業員数	10	10	オフィス_中都市	0.001542243	tCO2/人・日	_オフィス_中都市	0.154224251
例2：鉄道	環境省_交通費	10000		鉄道	1.85378E-06	tCO2/円	交通費_旅客鉄道	0.01853777
					#N/A	#N/A	#N/A	#N/A
					#N/A	#N/A	#N/A	#N/A

環境省_従業員数：従業員数に基づき算定する場合に選択、環境省DB【14従業員【勤務日数】】の原単位を使用します。

環境省_交通費：移動手段別の交通費に基づき算定する場合に選択、環境省DB【11交通費】の原単位を使用します。

環境省_従業員数：都市区分（大都市・中都市・小都市A・小都市B・町村）および拠点種類（工場 or オフィス）ごとに排出原単位が設定されています。
都市区分は行政区分および人口に基づき定義されています。
大都市：政令指定都市および東京都区部
中都市：大都市を除く人口15万以上の市
小都市A：人口5万以上15万未満の市
小都市B：人口5万未満の市

環境省_交通費：移動手段別に排出原単位が設定されています。ただし従業員の自家用車の場合は燃料単価から原単位を設定しています。

2-10. カテゴリ8（リース資産（上流））

- カテゴリ8の排出量は「リース資産のエネルギー使用量または建物面積 × 排出原単位」で算定します。
- 算定には環境省DB〔16建物（面積）〕やエネルギー種別の原単位を用います。
- 建物の利用形態や用途ごとに適切な原単位を選択します。

算定ロジック

カテゴリ8の排出量

=

リース資産使用エネルギーor
建物面積

×

排出原単位

資産名	算定方式	エネルギー量・面積		排出原単位（算定・報告・公表制度または環境省DB〔16建物【面積】】）			排出原単位（その他）				排出量 [t-CO2eq]	
		数値	単位	係数名	数値	単位	出典	係数名	数値	単位	出典	
例1：リース車両	環境省_エネルギー	1000	L	ガソリン	0.002290127	tCO2/L	環境省「算定・報告・公表制度における算定方法・排出係数一覧」					2.290126667
例2：拠点A	環境省_建物面積	1000	m2・年	事務所ビル	0.082437901	tCO2/m2・年	環境省DB〔16建物【面積】〕_事務所ビル_合計（代表値）					82.43790075
					#N/A	#N/A	#N/A					#N/A
					#N/A	#N/A	#N/A					#N/A
					#N/A	#N/A	#N/A					#N/A
					#N/A	#N/A	#N/A					#N/A
					#N/A	#N/A	#N/A					#N/A
					#N/A	#N/A	#N/A					#N/A
					#N/A	#N/A	#N/A					#N/A
					#N/A	#N/A	#N/A					#N/A
					#N/A	#N/A	#N/A					#N/A

環境省_エネルギー使用量：リース資産のエネルギー使用量に基づき算定する場合に選択、算定・報告・公表制度の原単位を使用します。ただし電気は日本平均のため、より詳細に算定する場合は「その他」を選択ください。

環境省_建物面積：賃借面積に基づき算定する場合に選択、環境省DB〔16建物【面積】〕の原単位を使用します。

その他：IDEA等の他の排出原単位データベースを使用する場合に選択します。

排出原単位の単位と整合するように値を入力ください。

環境省_エネルギー使用量：エネルギー種別に原単位を設定しています。ただし電気の場合は電力会社別ではなく、日本の平均値です。

環境省_建物面積：建物用途別に原単位が設定されています。利用形態にあった原単位を選択ください。

2-11. カテゴリ13（リース資産（下流））

- カテゴリ13の排出量は「リース資産のエネルギー使用量または建物面積 × 排出原単位」で算定します。
- 算定には環境省DB〔16建物（面積）〕やエネルギー種別の原単位を用います。
- 建物用途や利用形態に応じて適切な原単位を選択します。

算定ロジック

カテゴリ13の排出量

=

リース資産使用エネルギーor
建物面積

×

排出原単位

資産名	算定方式	エネルギー量・面積		排出原単位（算定・報告・公表制度または環境省DB〔16建物【面積】】）				排出原単位（その他）				排出量 [t-CO2eq]
		数値	単位	係数名	数値	単位	出典	係数名	数値	単位	出典	
例1：リース車両	環境省_エネルギー	1000	L	ガソリン	0.002290127	tCO2/L	環境省「算定・報告・公表制度における算定方法・排出係数一覧」					2.290126667
例2：拠点A	環境省_建物面積	1000	m2・年	事務所ビル	0.082437901	tCO2/m2・年	環境省DB「16建物【面積】」_事務所ビル_合計（代表値）					82.43790075
					#N/A	#N/A	#N/A					#N/A
					#N/A	#N/A	#N/A					#N/A
					#N/A	#N/A	#N/A					#N/A
					#N/A	#N/A	#N/A					#N/A
					#N/A	#N/A	#N/A					#N/A
					#N/A	#N/A	#N/A					#N/A
					#N/A	#N/A	#N/A					#N/A
					#N/A	#N/A	#N/A					#N/A

環境省_エネルギー使用量：リース資産のエネルギー使用量に基づき算定する場合に選択、算定・報告・公表制度の原単位を使用します。ただし電気は日本平均のため、より詳細に算定する場合は「その他」を選択ください。

環境省_建物面積：賃借面積に基づき算定する場合に選択、環境省DB〔16建物【面積】〕の原単位を使用します。

その他：IDEA等の他の排出原単位データベースを使用する場合に選択します。

環境省_エネルギー使用量：エネルギー種別に原単位を設定しています。ただし電気の場合は電力会社別ではなく、日本の平均値です。

環境省_建物面積：建物用途別に原単位が設定されています。利用形態にあった原単位を選択ください。

2-12. カテゴリ10（販売した製品の加工）

- カテゴリ10は「販売した中間製品の加工に伴う排出量」が対象です。
- 排出量は販売数量と排出原単位を掛け合わせて算定します。
- 排出原単位は既存データベース、文献、顧客ヒアリング等から取得します。

算定ロジック

カテゴリ10の排出量 = 製品の販売数量 × 排出原単位

活動内容 ▼	製品販売量		排出原単位 ▼			排出量 [t-CO2eq] ▼
	数値	単位	数値	単位	出典	
例：素材A	1000	t	3	tCO2e/t	顧客ヒアリングよ	3000
						0
						0
						0

排出原単位の単位と
整合するように値を入
力ください。

製造時・加工時の排出量を把握する必要が
ございます。しかし製造時・加工時のみの排出
を対象としたデータベースはあまり普及していな
いため、既存の排出原単位データベースや論
文・調査、顧客の情報等から個別で把握しま
す。

2-13. カテゴリ11（販売した製品の使用）

- カテゴリ11は「販売した製品の使用段階における排出量」が対象です。
- 算定には販売数量・耐用年数・活動量（エネルギー消費やガス漏洩量）を掛け合わせます。
- 排出原単位は環境省データベースや既存文献から選定します。

算定ロジック

カテゴリ11の排出量

=

販売製品の数量

×

耐用年数

×

活動量

×

排出原単位

販売製品	算定方式	販売数量		耐用年数		年間エネルギー使用量/温室効果ガス		排出原単位（算定・報告・公表制度）		排出原単位（その他）		排出量 [t-CO2eq]
		数量	単位	数値	単位	数値	単位	数値	単位	出典	係数名	
例1：家電A	環境省_エネルギー	1000	台	5	年	1000	kWh・年	0.000423	tCO2/kWh	環境省「電気事業者別排出係数一覧 令和7年提出用」_全国平均係数		2115
例2：機械B	環境省_6.5ガス漏洩	1000	台	5	年	0.001	t・年	677	tCO2eq/tHFC-32	環境省「算定・報告・公表制度における算定方法・排出係数一覧」		3385
					年			#N/A	#N/A	#N/A		#N/A
					年			#N/A	#N/A	#N/A		#N/A
					年			#N/A	#N/A	#N/A		#N/A
					年			#N/A	#N/A	#N/A		#N/A
					年			#N/A	#N/A	#N/A		#N/A
					年			#N/A	#N/A	#N/A		#N/A
					年			#N/A	#N/A	#N/A		#N/A
					年			#N/A	#N/A	#N/A		#N/A

環境省_エネルギー使用量：販売した製品のエネルギー使用量に基づき算定する場合に選択、算定・報告・公表制度の原単位を使用します。ただし電気は日本平均のため、より詳細に算定する場合は「その他」を選択ください。

環境省_6.5ガス漏洩量：販売した製品からの温室効果ガス漏洩量に基づき算定する場合に選択、原単位は算定・報告・公表制度の地球温暖化原単位を使用します。

その他：IDEA等の他の排出原単位データベースを使用する場合に選択します。

環境省_エネルギー使用量：エネルギー種別に原単位を設定しています。ただし電気の場合は電力会社別ではなく、日本の平均値です。

環境省_6.5ガス漏洩量：温室効果ガスの種類に基づき原単位が設定されています。漏洩する温室効果ガスの種類に応じた原単位を選択ください。

2-14. カテゴリ14（フランチャイズ）

- カテゴリ14算定のため、加盟店舗の活動量データをシートに入力していただきます。
- 活動量データには建物面積やエネルギー使用量を用います。
- 排出量は活動量データに排出原単位を掛け合わせて算定します。

算定ロジック

カテゴリ14の排出量

=

建物面積

×

排出原単位

活動内容	算定方式	活動量データ		排出原単位（算定・報告・公表制度または環境省DB【16建物【面積】】			排出原単位（その他）					排出量
		数値	単位	係数名	数値	単位	出典	係数名	数値	単位	出典	[t-CO2eq]
例1：フランチャイズ	環境省 エネルギー	100000	kWh	電気（日本）	0.000423	tCO2/kWh	環境省「電気事業者別排出係数一覧 令和7年提出用」_全国平均係数					42.3
例2：フランチャイズ	環境省 建物面積	200	m2	飲食店	0.185500713	tCO2/m2・年	環境省DB「16建物【面積】」_飲食店_合計（代表値）					37.10014269
					#N/A	#N/A	#N/A					#N/A
					#N/A	#N/A	#N/A					#N/A
					#N/A	#N/A	#N/A					#N/A
					#N/A	#N/A	#N/A					#N/A
					#N/A	#N/A	#N/A					#N/A
					#N/A	#N/A	#N/A					#N/A
					#N/A	#N/A	#N/A					#N/A
					#N/A	#N/A	#N/A					#N/A
					#N/A	#N/A	#N/A					#N/A

環境省_エネルギー使用量：エネルギー種別に原単位を設定しています。ただし電気の場合は電力会社別ではなく、日本の平均値です。

環境省_建物面積：建物用途別に原単位が設定されています。利用形態にあった原単位を選択ください。

2-15. カテゴリ15（投資_GHGp）

- 純投資のみが対象で、政策保有株は含みません。
- 主に民間金融機関に適用されるカテゴリです。

算定ロジック

カテゴリ15の排出量

=

出資比率

×

一次データor推計データ

活動内容	出資比率		投融資先の排出量			排出量 [t-CO2eq]
	数値	単位	数値	単位	出典	
例：投資先A	10%	%	10000	tCO2e	顧客HPより	1000
						0
						0
						0
						0